

J R 町田駅南地区まちづくり整備方針

～南の玄関口のまちづくり～

概要版

2018年3月

町田市

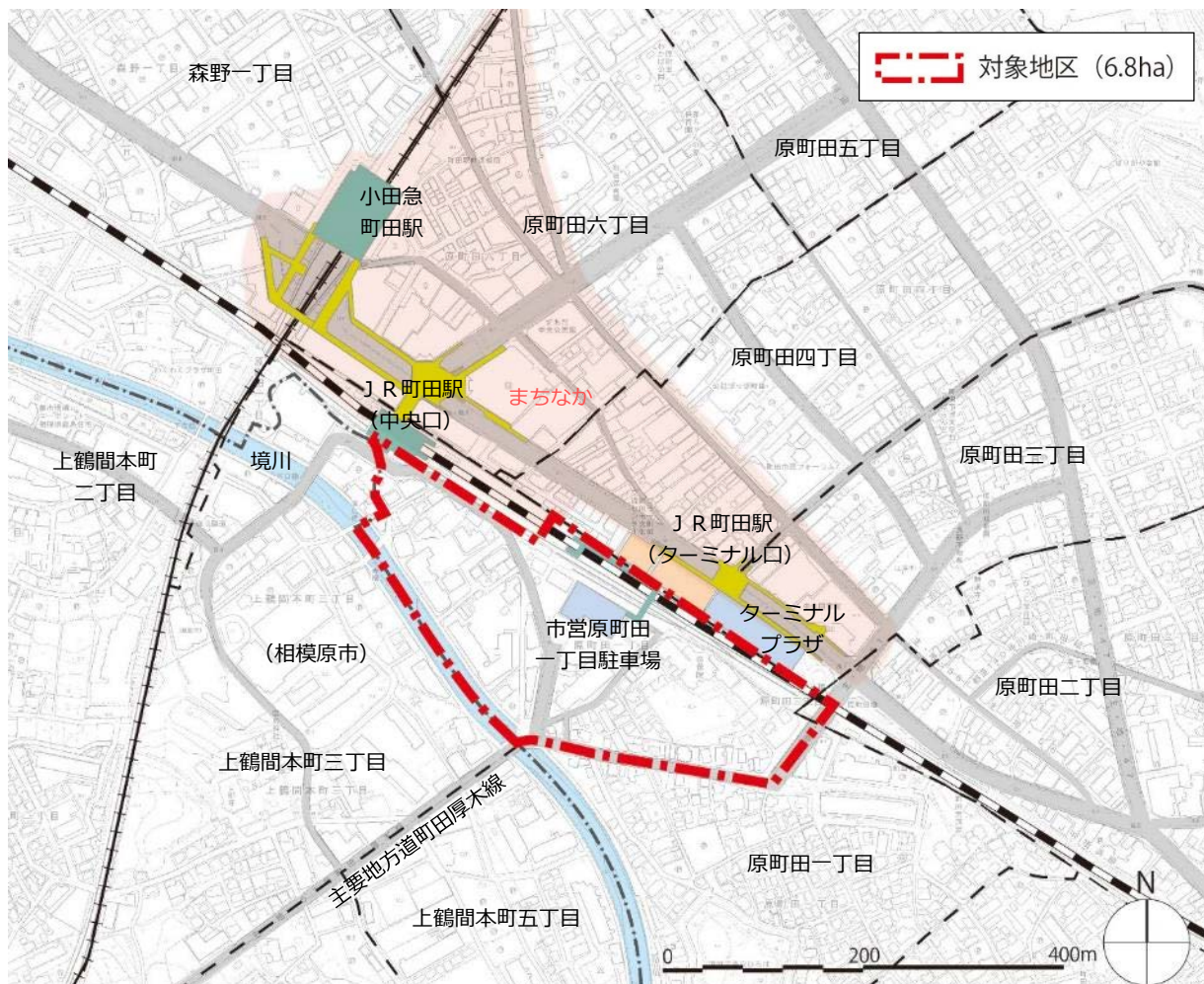
目次

1. 整備方針の目的	1
2. JR町田駅南地区のまちづくりの課題.....	2
3. まちづくりのコンセプト.....	2
4. まちづくりの方針	3
5. まちづくりの具体化に向けて	3
5-1.ゾーン別のまちづくり（土地利用）	3
5-2.まちなかへのアクセス（交通基盤）	3
5-3.魅力ある都市景観の形成	4
5-4.防災対策の充実	4
5-5.良好な都市開発の誘導.....	4
6. 今後の予定	4
7. まちづくりの広がり	4

1. 整備方針の目的

厳しい都市間競争の中で、これからも町田市中心市街地が埋没せずに選ばれ続けるまちであるために、市は、2016年7月、町田市中心市街地活性化協議会と共同で「町田市中心市街地まちづくり計画（以下：まちづくり計画）」を策定し、中心市街地の新たなまちづくりに向けて再スタートしました。

まちづくり計画に掲げる10のプロジェクトの1つである、**町田駅南側から多くの人にまちなかへ訪れてもらうために、交通環境の整備やまちなかへのアクセスの強化**に取り組む「南の玄関口のまちづくりプロジェクト」を推進するため、「J R町田駅南地区まちづくり整備方針」を策定します。



[対象地区]

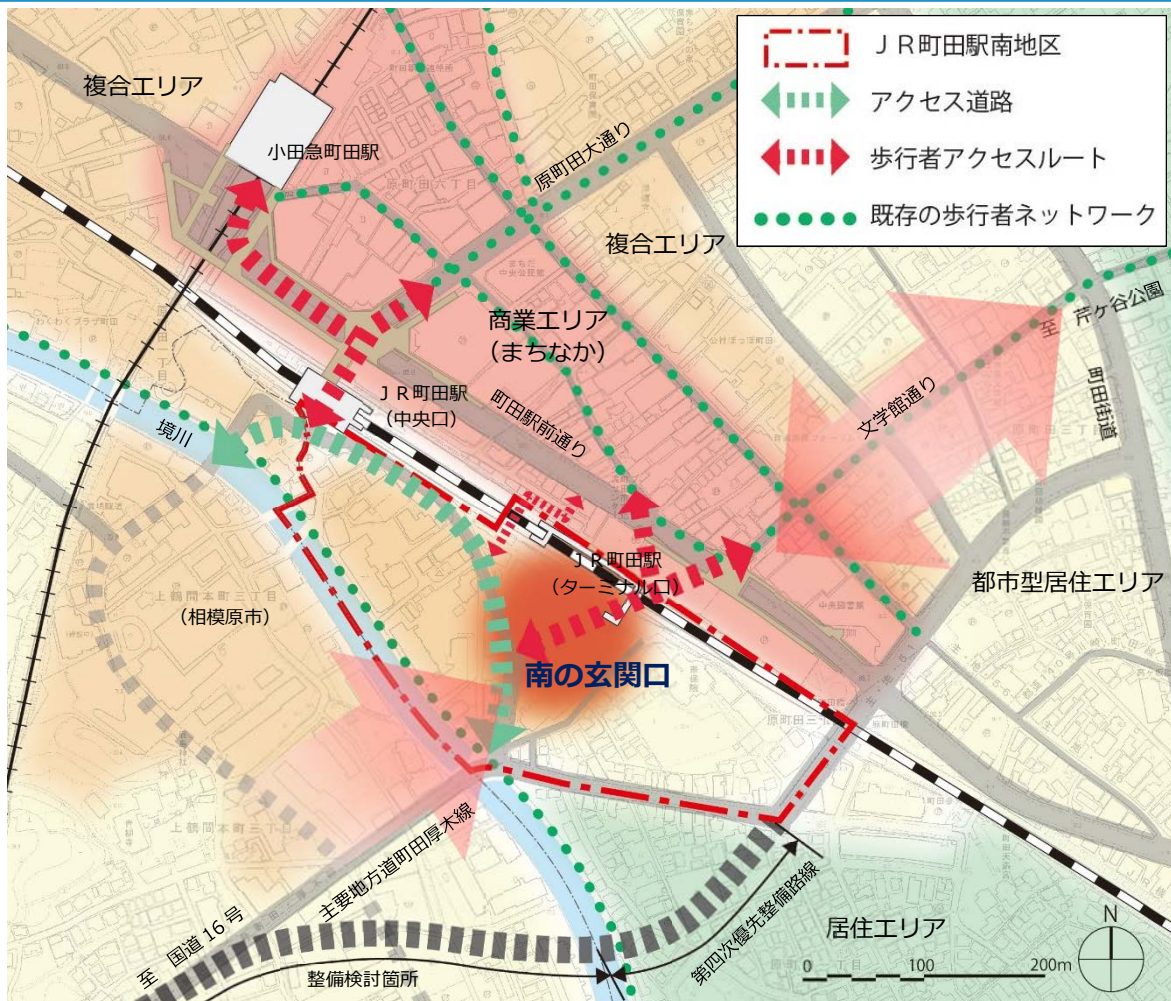
2. JR町田駅南地区のまちづくりの課題

- JR町田駅ターミナル口南側直近の低未利用地の有効活用
- 原町田自由通路の視認性と快適性の向上による、ターミナル口の利用増進と南北のアクセス強化
- 駅前の歩行者空間や憩いの空間の創出
- 駅前にふさわしい魅力的な景観の形成
- 多様な世代の居住を支える都市型住宅と生活関連サービス等の充実
- 来街者の更なる増加を見据えた災害対策
- 老朽化した市営原町田一丁目駐車場の早期建替え
- 相模原市と連携したJR町田駅南側の交通基盤づくりの検討

3. まちづくりのコンセプト

南の玄関口のまちづくり

～まちなかを訪れ、楽しみ、活動する人と、駅周辺で暮らし、住み続ける人を増やす～



[まちづくりの方針図]

5-3.魅力ある都市景観の形成

「商都」としてにぎわう町田駅周辺において、当地区はケヤキ並木や境川など地域の景観資源を生かし、北側の商業集積地とは異なる落ち着いた雰囲気を残しながら、新たな魅力を加え、活気や賑わいのある景観を実現するとともに、南北アクセスや快適性の向上を図ります。

5-4.防災対策の充実

大規模地震等発生時の帰宅困難者への対応として、一時滞在施設や防災備蓄倉庫の確保を進めるほか、災害時の滞留者対策にも活用できる広場などの誘導を図ります。

5-5.良好な都市開発の誘導

広場・空地等の確保などを行う計画に対して、必要に応じて、高度利用地区の指定などを行うことにより、市街地環境の向上に寄与する良好な都市開発を誘導します。

6. 今後の予定

	2018年		
	短期 (概ね5年以内)	中期 (概ね5～10年)	長期 (10年以上)
複合拠点ゾーンの整備 (市街地再開発事業等)			
南北アクセスルートの整備 (自由通路等のリニューアル)			
アクセス道路の整備 (歩行者空間の改善等)			

7. まちづくりの広がり

まちなかへ多くの人々を迎え入れる南の玄関口として、南北をつなぐアクセスを強化することで、ゆったり歩ける歩行者空間と賑わいのある商店街の形成を目指す『文学館通り』から、駅周辺の文化施設とともに文化芸術を発信する『芸術の杜 芹ヶ谷公園』へつづく歩行者ネットワークが形成されます。

町田駅の南側にできる複合拠点、憩いの空間が、ターミナルプラザの市民広場やぽっぽ町田、町田シバヒロといった広場空間、公共施設や商業・文化施設、商店街や道路空間など、まちなかの様々な場所で開催される魅力的なイベントとつながることで、まちの賑わいと回遊がより大きくなります。

「南の玄関口のまちづくり」が、中心市街地で進む様々な取り組み、多様な担い手の活動を促し、つながることで、中心市街地全体の活性化、新たな賑わいの創出、歩いて楽しいまちづくりが実現します。

J R町田駅南地区まちづくり整備方針（概要版）

発 行 日	2018 年 3 月
発 行 者	町田市 〒194-8520 町田市森野 2-2-22 電話 042-722-3111（代表）
編 集	町田市都市づくり部地区街づくり課
印 刷 者	八昭印刷株式会社